**パラグアイ内政・外交（２０１４年１１月分）**

**概要**

**（１）内政**

●６日，政府は，当国の非拘束名簿式比例代表制を定める法律４５８５／１２号を廃止する法律５３５０号を公布した。

●２０日，上院本会議において，ジュッシオ上院麻薬対策委員長が政治と麻薬取引との関係についてプレゼンを行い，麻薬取引への関与が疑われる政治家の氏名を公表した。

●２２日，与党コロラド党は臨時党大会を開催し，２０１６年に予定されていたコロラド党・党首選挙と２０１５年全国市長選挙に向けた党内選挙を２０１５年に同時に実施することが承認された。

**（２）外交**

●３日，ロイサガ外相は，ウィーンで開催された第２回国連内陸開発途上国（ＬＬＤＣ）会議のプレナリー・セッションに参加し，ステートメントを行った。

●６日，ロイサガ外相は英国を訪問し，ヒューゴ・スワイア英国外務閣外大臣との会談を行った。

●１３日，当国を訪問したサンペールＵＮＡＳＵＲ事務局長は，カルテス大統領を表敬するとともに，ロイサガ外相との会談を行った。

●１７日，ロイサガ外相はペルーを訪問し，グティエレス・ペルー外相との会談を行った。

●２１日，カルテス大統領はエクアドルを訪問し，コレア・エクアドル大統領との首脳会談を行った。

●２５日，ロイサガ外相はチリを訪問し，ムニョス・チリ外相との会談を行った。

**１　内政**

**（１）非拘束名簿式比例代表制廃止にかかる法律の公布**

●６日，政府は，当国の非拘束名簿式比例代表制を定める法律４５８５／１２号を廃止する法律５３５０号を公布した。パラグアイでは従来，拘束名簿式（サバナ・リスト）が用いられてきたが，２０１２年２月，政府が拘束名簿式比例代表制の廃止を内容とする法律４５８５／１２号を公布した。しかし，その後，非拘束名簿式の導入を２０１５年以降に見送っていた。

●今後，非拘束名簿式比例代表制の導入に向けた新たな法案が下院に提出される予定であり，野党リベラル党,PEN（国民会合党）及びコロラド党がそれぞれ法案を作成している。

**（２）国会議員の麻薬取引への関与にかかる公表**

●２０日，上院本会議において，ジュッシオ上院麻薬対策委員長が政治と麻薬取引との関係についてプレゼンを行い，ルイス・ロハス麻薬対策庁（SENAD）長官から提供を受けた各種証拠を基に，麻薬取引への関与が疑われる以下の政治家の氏名を公表した。

ア　フレディー・デクレシス下院議員（コロラド党）

　イ　マルシアル・レスカーノ下院議員（コロラド党）

ウ　ベルナルド・ビジャルバ下院議員（コロラド党）

エ　カルロス・サンチェス（レスカーノ下院議員補欠）

オ　マグダレーノ・シルバ元下院議員（コロラド党）

カ　コンセプシオン・クーバス・メルコスール議会議員（コロラド党）

キ　アリシア・ゴンサレス・ヌエバヘルマニア市長（コロラド党）

●政治家の麻薬取引への関与については，麻薬関連の取材を行っていたabc紙の地方記者が殺害される事件が１０月１６日発生して以降，メディアで大々的に報じられてきた。当初から麻薬政治家（narcopolitico）として名前が挙げられていたクリスティーナ・ビジャルバ下院議員（コロラド党）及びカルロス・マッジ下院議員（コロラド党）は今回の公表リストには含まれていなかった。

**（３）与党コロラド党臨時党大会の開催**

●２２日，与党コロラド党は臨時党大会を開催し，２０１６年に予定されていたコロラド党・党首選挙と２０１５年全国市長選挙に向けた党内選挙を２０１５年に同時に実施することが承認された。また，党首の任期に変更を加えず，５年のままとすることが承認された。

**（４）政治とマフィアの関係についてのインタビュー**

●２４日，当国の著名な社会学者であるホセ・カルロス・ロドリゲス氏（発展研究所研究員）はウルティマ・オラ紙のインタビューに応じ，パラグアイにおける麻薬取引は，国家に浸透しているというレベルではなく，麻薬取引が国家の一部をなしている旨述べるとともに，司法は麻薬マフィアなど特定の権力者の手中にあり，私物化されている状態にあるとし，カルテス大統領が司法改革に取りかからないとするならば，高い代償を払うことになるとの見解を示した。

**（５）カルテス大統領と当地外交団の会合**

●２６日，当地バチカン大使館において，カルテス大統領及び政権閣僚並びに当地外交団との会合が行われた。同会合においては，カルテス大統領が外交団からの質問に答える形で，麻薬対策へのコミットメント，司法府改革に関する見解等について述べた。

**２　外交**

**（１）カルテス大統領のエクアドル訪問**

●２１日，エクアドルを訪問したカルテス大統領は，エクアドル大統領府において，コレア大統領との首脳会談及び共同記者会見を行い，両国関係深化に向けて，引き続き協働する決意を再確認した。

●カルテス大統領は，同記者会見において，カルテス政権が取り組んでいる政府の透明性の確保や教育といった分野において，エクアドルは先を行く国であり，模範となり得る旨述べた。また，同大統領は，エクアドルとの恒常的なコミュニケーションを通じて，パラグアイが優位性を有する農牧や電力の分野を含め，幅広く知識を共有し，協働していきたい旨述べた。

●これに対し，コレア大統領は,パラグアイが農牧分野でエクアドルに対し助言を行ってきており，多数のミッションがパラグアイを訪問してきた旨述べるとともに，パラグアイに対して，電子政府システムの分野における経験を共有しうる旨述べた。

**（２）ロイサガ外相の第２回国連内陸開発途上国（ＬＬＤＣ）会議出席**

●３日，ロイサガ外相は，ウィーンにおいて開催された第２回国連内陸開発途上国（ＬＬＤＣ）会議のプレナリー・セッションにおいて，ステートメントを行った。

●同外相は，同ステートメントにおいて，国際社会において，内陸国の状況に対する理解は徐々に深まっているものの，移動の自由，国際市場へのアクセス，その他の貿易円滑化など，達成されるべき目標が数多く残っている旨述べ，ＷＴＯ貿易円滑化協定の早期採択，パラグアイ－パラナ水路における国際ルールの遵守を求める旨述べた。

**（３）ロイサガ外相の英国訪問**

＜スワイア英国外務閣外大臣との会談＞

●６日，ロンドンを訪問したロイサガ外相は，ヒューゴ・スワイア英国外務閣外大臣との会談を行った。同会談においては，二国間に加え，両地域や多数国間の共通の関心テーマについても協議が行われた。

●その後，両大臣は，パラグアイ側の閣僚等を含めた拡大会合を行い，二国間貿易の強化及び英国の対パラグアイ投資につき，意見交換を行った。なお，同拡大会合には，レイテ商工相，ロハス蔵相，ガッティーニ農牧相，フェルナンデス中銀総裁等が同席した。

＜貿易投資フォーラム出席＞

●同日，ロイサガ外相は，ロンドン市内のホテルで行われた「パラグアイ・英国貿易投資フォーラム」に参加し，相互互恵的な発展に向けて，パラグアイへの投資を呼びかけるスピーチを行った。

**（４）ロイサガ外相のペルー訪問**

●１７日，ペルーを訪問したロイサガ外相は，グティエレス・ペルー外相との会談を行った。同会談においては，両国間アクセスの向上，貿易・投資促進，技術協力等につき協議が行われた。また，両外相は，両国国民が共有する民主主義，人権尊重，平和主義，国際法遵守，地域統合，社会的包摂を伴う発展に支えられた良好な二国間関係に満足の意を示した。なお，同会談後に発出された両国外相間共同声明の主なポイントは以下のとおり。

＜共同声明＞

●パラグアイの内陸国としての脆弱性を考慮し，各種国際取り決めや国際機関決議で規定されている移動の自由につき，各国の遵守を要求。

●気候変動に関する世界的な対話の重要性を強調。

●パラグアイの太平洋同盟へのオブザーバー参加に満足の意を表明。

●１１月１日の太平洋同盟とメルコスールの閣僚級会合開催及び１１月２４日に予定されている太平洋同盟とメルコスールの加盟国によるセミナーの開催を歓迎。

**（５）ロイサガ外相のチリ訪問**

●２５日，チリを訪問したロイサガ外相はムニョス・チリ外相との会談を行った。ムニョス外相との会談は,米州機構（ＯＡＳ）総会期間中の会談に続き，本年２回目である。

●両外相は，同会談において，領事協力協定の締結に向けた意思の宣言書（Declaracion de intenciones）に署名するとともに，近々，社会保障協定の手続きにかかる取決の署名が行われることを強調した。

●なお，ロイサガ外相は，同会談において，カルテス大統領からバチェレ・チリ大統領に対する２０１５年パラグアイ公式訪問にかかる招待を伝達した。

**（６）サンペールＵＮＡＳＵＲ事務局長の当国訪問**

＜カルテス大統領表敬＞

●１３日，当国を訪問したサンペールＵＮＡＳＵＲ事務局長は，大統領府においてカルテス大統領を表敬し，１２月４日～５日にエクアドルのキトにおいて開催されるＵＮＡＳＵＲ首脳会合への招待を行った。

●サンペール事務局長は，同表敬後，記者団に対し，ＵＮＡＳＵＲ非加盟国の国々とも協定を結べる形をとり，より開かれた地域統合を目指すというＵＮＡＳＵＲのビジョンをカルテス大統領とともに共有した旨述べた。また，同事務局長は，開かれた地域統合により，ＵＮＡＳＵＲ，ＡＬＢＡ，メルコスール，太平洋同盟の接近が可能となる旨述べた。

＜ロイサガ外相との会談＞

●同日，サンペール事務局長は，外務省において，ロイサガ外相との会談を行った。同事務局長は，会談後，記者団に対し，ＵＮＡＳＵＲはビジョンを行動に移す機関に変わる旨述べるとともに，更なる地域統合，社会的包摂の実現に向け，各種計画を実行していく旨述べた。

**３　要人往来**

**（１）来訪**

●１３日，サンペールＵＮＡＳＵＲ事務局長（カルテス大統領表敬等）

**（２）往訪**

●１日～８日，ヒメネス・ガオナ公共事業通信相，スペイン訪問（国際会議出席）

●３日～５日，ロイサガ外相，オーストリア訪問（第２回国連内陸開発途上国会議出席）

●４日～７日，ロハス蔵相等，英国訪問（貿易投資フォーラム出席）

●９日～１１日，レイテ商工相，ブラジル訪問（経済イベント出席）

●１２日～１４日，ラフエンテ教育文化相，アルゼンチン訪問（教育関係国際会議出席）

●１２日～１５日，バリオス厚生相，アルゼンチン訪問（メルコスール保健相会合出席）

●１３日～１６日，デ・バルガス内務相，アルゼンチン訪問（ﾒﾙｺｽｰﾙ内務相会議出席）

●１４日，アベド司法相，アルゼンチン訪問（メルコスール司法相会議出席）

●１６日～１７日，ロイサガ外相，ペルー訪問（グティエレス外相との会談等）

●２０日～２１日，カルテス大統領，エクアドル訪問（コレア大統領との会談等）

●２１日～２７日，ソサ労働雇用社会保障相，メキシコ訪問（ｲﾍﾞﾛｱﾒﾘｶ労働相会議出席）

(了)